★働くことについて考えてみよう

「あなたは何のために働いているのですか？」と聞かれると、多くの人は「働かないと生活できないから」と答えます。実際、現代社会では、生活するのに必要なモノやサービスのほとんどを、金銭で購入する必要があります。そして、働くことは収入を得る確実な方法なのです。

自立して生活していくためには、職業を選択し、収入を得ることが必要不可欠です。家族を持ち、養うことを考えた場合も、働くことで得る収入は、生活基盤を支える上で重要になります。

しかし、お金を得ることだけが働くことの目的ではありません。たとえ、一生生活に困らないお金を持っていても、働き続ける人もいます。人は働くことで、社会との関わりを持ち、自己実現をしたり社会貢献をしたりしながら、自分の存在意義を確かめています。

●次の事例を読んで働く目的について考えてみましょう

事例１（製造業）

子どもの頃から工作が大好きで、小さい頃は夢中でプラモデルなどを作っていました。将来はモノづくりに関わる仕事に就きたいと考え、今は車を組み立てる工場で働いています。沢山の人の手や機械によって、大きな車体が組み立てられ完成する工程に携わっていることにやりがいを感じています。完成した車には、私を含めいろいろな人の想いが込められています。

事例２（保育園）

保育園で保育士として働いています。働いていると、大変なこともありますが、子どもたちの成長や発達に関われるこの仕事に誇りを感じています。もっと子どもたちに寄り添える保育士になれるように、もっと沢山の子どもたちの笑顔に出会えるように、今日も笑顔で頑張ります。

事例３（情報通信業）

ソフトウェア会社でシステムエンジニアとして長年勤めてきましたが、来月より、人事課へ配置転換となります。私はエンジニアの仕事にやりがいを感じていたので、自分が現場で求められていないのではないかと不安を抱きました。しかし、新しい職場では、新人の育成や研修を担当するということで、若い人達の役に立ちたいと考えるようになりました。

●働き方について考えてみましょう

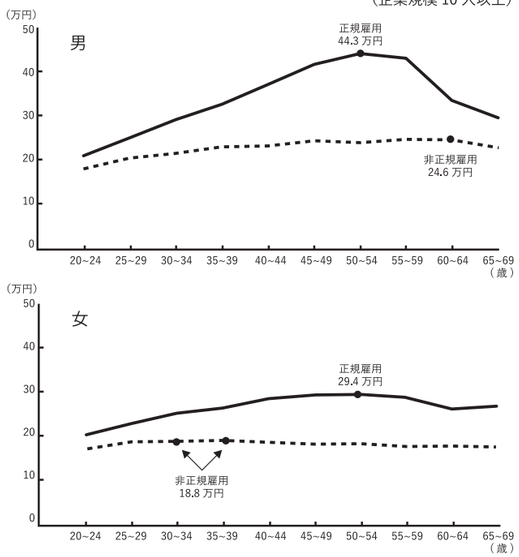
「どういった働き方をしたいのか」「働くということは、自分の人生においてどういう意味があるのか」について、しっかり考えてみましょう。

勤務する時間や場所（地域）、仕事の中身や収入のレベルは、あなたの人生にも大きな影響を与えます。自分の目標を持って、働き方を選択することが大切です。

働く人の価値観や生活様式は多様化しており、仕事と生活を両立する観点からも様々な働き方があります。パート・アルバイトや派遣・契約社員などは、自分の都合のよい時間帯に働けるなどメリットがある一方、雇用が不安定であったり、職業キャリアの形成が不十分であったりなどの課題もあります。できるだけ早いうちに将来について考え、目標を定めましょう。

・雇用形態別の賃金（月額）

（企業規模 10 人以上）



出典：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（平成 27 年）

●あなたの職業観について考えてみましょう

あなたが「働くこと」を考えるとき、重視したいものは何ですか。下記の項目について考えてみましょう。

1	社会や人から感謝される	9	将来、独立（起業）できる
2	自分の能力、個性が発揮できる	１０	世界で活躍できる
3	社会に貢献できる	１１	収入が多い
4	専門的な技能・技術を身に付けることができる	１２	休みが多い
5	仕事の達成感を感じることができる	１３	長く安定して働くことができ、失業の心配がない
6	家庭や育児との両立ができる	１４	会社の知名度が高い
7	自分がやりたいこと（好きなこと）ができる	１５	職場の人間関係がよい
8	社会的な地位や名声を得られる	１６	その他（　　）

◆重要度が高いと考えるものを３～５つ挙げて、その理由について話し合ってみましょう。

①	②	③	④	⑤

考えてみよう !!

◆あなたが就きたい職業について考えてみましょう。

◆さらにその仕事に就くために、どんな知識や技能が必要かについても調べてみましょう。